

昭和 53 年 12 月 22 日(金)

入小屋<3年 20th 石垣秀敏・西田雅典/2年 21th 山崎俊夫/1年 22期 津江真行・成島和仁>

昭和 53 年 12 月 23 日(土)

入小屋<3年 20th 加賀友規・水田徹・増田敬子・清水恵子/2年 21th 村松俊明・鳥井正志・山本規雄(21)/1年 22期 西田博司・山本為朝・浅沼芳弘・橋岡崇史・柳沢章博・林 秀樹・舟木京太・寺島一希・鴨志田岳志・成田裕子>

SKI 講習会前日

こんな雪の少ない SKI 講習会は初めてみたいです。第3ゲレンデは滑れなく、林道を滑るんです。

突然ですが、麻雀の結果

寺島・西田→おしるこ→山崎

山本→ コーヒー→水田 …おごる

もう書くことが無くなりました。ただ、小屋日誌の一番最初に書きたかっただけです。

3年 20th 加賀友規

昭和 53 年 12 月 24 日(日)

入小屋<4年 19期 井上晃/3年 20th 青山功・玉木慎二・安武和俊・田中栄美子/2年 21th 籠橋泰憲・藤倉大介・溝畑晃道・山室晴美・山中直子・渡部朋子/1年 22期 平井達郎・佐藤晶子・山田美佐緒・谷内佳子・渡辺清子>

昭和 53 年 12 月 25 日(月)

入小屋<3年 20th 板倉欽也/2年 21th 横溝真司・中川雅邦・岩崎泰夫・椋代節子>
出小屋<1年 22期 鴨志田岳志>

昭和 53 年 12 月 26 日(火)

出小屋<1年 22期 西田博司・津江真行>

昭和 53 年 12 月 27 日(水)

入小屋<3年 20th 太田信幸・作山栄一・小泉真弓>
出小屋<3年 20th 田中栄美子・清水恵子/1年 22期 橋岡崇史・林秀樹・平井達郎・寺島一希>

快晴、今朝でスキー講習会は終わりました。なのに、今 35 人も、この小屋に残って居るんです。今は夜の 10:20。2年生は明日、冬期講習会があるそうで、み

んな2階に行ってしまいました。でも、未だ下でトラップをしている人がいます。籠橋さんです。とっても楽しそう。今、1年生は、10人残っています。みんなで歌を歌っています。こうして見ていると、みんな思い思いの事をしていて、見ていてちっとも飽きません。私はこういう風にボケッとしているのが大好きです。このままずっと小屋で年を越してしまいたい気分です。とっても居心地がいいんですもの。来年こそは、この雪に囲まれた小屋で、新年を迎えようと思っています。横浜では、雪なんか一粒も降っていないのに、ここ妙高は、真っ白なんて信じられません。スキー講習会に来たおかげで、生まれて初めて、雪の中で X'mas を祝いました。雪でウィスキーを飲みました。明日は雪がいっぱい降りますように。私は明日、小田原に帰ります。では、今度、春、来るまで。さようなら。

1年 22th ミサオちゃん山田美佐緒

昭和 53 年 12 月 28 日(木)

入小屋<OB16期植松弘・OB18期山口貢三・長谷川(溝畑友2)・市川(溝畑友2)・渡部>
出小屋<3年 20th 安武和俊/1年 22期 浅沼芳弘・佐藤晶子・山田美佐緒・渡辺清子>

0時13分 22期のおぼん

雪下ろしが鳴った。

林道を滑ればスキーに石がガチガチ当たるし、ゲレンデは土色に染まり、スキの葉が顔を出していた昨日。今は夜で、空には星があるのに…雪の前兆、雪下ろしが鳴った。これで雪が又降れば安心して滑れる(なんて、偉そうに、大して変わんないくせにねえ。)でもこれは、私だけにとっての事ではないから、とにかく良かった!

小屋の裏側に鎌倉を作りかけている。その横に雪だるまが立っている。ピラミッドにスフィンクス、鎌倉に雪だるま、の関係なんです。雪だるまはこんな顔(挿し絵略)しているの、ずーと取っておきたいのね!可愛い雪だるまさん。

明後日帰るんだけど、帰りたくなくて、でも帰らなくてはならず…夜眠るのが勿体なくて、未だ起きているのです。10人ほどの人が、それぞれ思い思いの事をして、起きています。静かだし、そんなに炬燵は寒くないし、いいね…人数も少なくってね。

私は1年の女子、間の抜けたことをしょっちゅうやっては笑われ、人に迷惑をかけ、本当に始末に負えない子です。こんな私も、いろいろ考えることがあります。1年生の中で自分の位置づけ、私は、どう求められているのか、何をすべきか、目標とすべき上級生の女子が沢山居て、それぞれのしっかりしている所に、ワー、フムフムと感心してます。…なんちゃって。

小屋の後で大声を出すと、すごく良い気持ちですよ。やってみてご覧なさい。コダマはしないけど、きれいな響きが残ります。「――さん(くん)大好き」とか。

後5ヶ月足らずで20才。このまま20才の階段を上っていくと、そのまま、今は過去になる。もう戻れない私の日々、さあ、私よ頑張れ!

百人一首をした、歌をうたった、もうだめ、寝ます、おやすみなさい。又あした書くね。

1年22th 成田裕子

A.M. 1:05

成田は、少し前、目を擦りながら2階へ上がって行きました。周りから加賀さん、西田さん達の合唱が聞こえてきます。その横では、石垣さんと鳥井さんが何やら話をしています。今少しまで意気投合していた舟本と青山さんの会話が、急にぷつぷつと絶えてしまいました。見ると青山さんは意識が無くなっていました。僕は炬燵に座って、今回、初めて足を延ばしてくつろいでいます。(今まで仲々炬燵で足を延ばせなかったのです)。

先程外へ出てみると、星が少ししか出てませんでした。雪だるまを作り終わった頃、空を眺めるとかなりの星が見えていたのに…。これじゃ星座も何も分かりやしない。でも、これで雪が降ってくれるなら嬉しい。雪が少なすぎる。

鳥井さん、高校の頃と比べて変わったなあ。今も石垣さんと話しているけど、以前はあんなにクラブに対して深く考えてそれを実行に移せる人には見えなかった。

舟本は、今度は溝畑さんと話をしています。後の人はもう寝てしまいました。こういう雰囲気っていいですね。少しお腹が空いたけど…。

1年22th 柳沢章博

A.M. 10:30

昨日は夜遅くまで起きていたので頭が重い。スキー講習会が終わったら急に寝坊になってしまった。今日は朝から雨あられが降っていたそうだけど、今はみぞれが降っている。せっかく遅くまで小屋に残るつもりだったのに、何にも出来ないで、その時間が過ぎてしまう。もう一回、たっぷり雪が降ってくれないだろうか。

徳島、宮崎、東京に居る友人達は今頃何をしているだろう。浪人時代はまた忙しくて、あまり手紙を書けなかったけれども、大学に入ってから、今現在を生きるのに精一杯になってしまっ、こんな時位にしか、友人のことをゆっくり思っていられない。また会って話をしたいな。

去年の大晦日、「来年こそは充実した一年にしたい。」とっていた。一応、その目標は達成できたように思う。大好きな八ヶ岳も二回行ったし、南アにも行ったし、沖縄の海で生活もした。そして今度のスキー講習

会…。あっそれからバスケット大会でも準優勝!自分のやりたいことを精一杯出来るというのは本当に幸せなことだ。

来年も又発展の年としよう。過ぎたことが”想いで”という形になっていくのは何故か悲しい。過去は過去で良かったけれども、それを生きる糧 みたいに考えてしまうと、前を見なくなってしまう。今はそういう感傷に浸らず、前を一生懸命見つめて生きてゆきたい。

話はコロッと変わって…。やっぱりスキーをしに来てるのに滑れないのはつらいな。早く雨やめ。

1年22期 (K.F.) 舟木京太

初めてここに登場であります。リーダー講習会も無事に終わって、今、皆サンアントンに lunch time であります。昨日はスキーリレーの打ち上げ、今日はリーダー講習会の打ち上げで、みな楽しみであります。私は完全に喉をやられて、出掛ける気になれないのであります。そして、皆様には申し訳ないのですが、勘弁してください。今、幸せなことに炬燵を独占しています。ポカポカ足が暖かです。独りぼっちは淋しいかもしれませんね。

昨日までの空は一変して、霧が立ちこめています。私は といえば、気が非常に重く、喉が非常に具合が悪く、天気には比例しています。

何も書くことが無くて平和です。この冬の1日を、ボンヤリと雪に埋もれた小屋で過ごす静寂は、我が身の幸福を感じずにはられません。

by Mook 12/28 1:00pm 2年21th 椋代節子

7:15 PM

昨夜、冬トレ偵察の審査会(2パーティー;2コース)をやった。今日は朝から21期提唱のリーダー講習会があり、ザイルワーク(トラバース、登下行、グリップ…etc)を、2年生と一緒にやった。ザイルを握ると、高校時代原宿にある東京オリンピック記念体育館の裏の壁を使ってY君と二人でクライミングの練習をしていたことを思い出す。初めてザイルを握ったときは、何かゴツゴツしていて、とても「こんなもん使えんぞ」という風を感じた。YWVにあるザイルは、扱いの悪いせいか、やや不整ぼい。捻れ・変色・キズが目立つ。2年生には、来年ザイルを優しく使うように言いたい。万一の場合は生命をそれに賭けるかもしれないザイルなんだから、当たり前だ。湿っぽいところや直射日光の当たるところは避けて、綺麗に保管して欲しい。来夏の夏合宿、春合宿…でも、wandering に持って行くだろうから、その時は優しく扱ってください。ザイルやラジヤ、テント(ペグ)、コッヘル…大切な wanderer の片腕です。…元装備係より…とにかくリーダー講習会をやったからって、安心しないで、大切なのは普段

の勉強だ。Guts!

3年20期 西田雅典

8:40

行事 etc も終わり、何となく気の抜けたような、他愛もない だけど気分の良いような、どうでも良いような、変な時を過ごしています。小屋には 30 人余り、多くもなく、少なくもなく、の人数です。

初めて小屋に来たのは、2年前の春、5月の連休でした。あの頃の自分と今の自分を比べてみると、あっという間だったけど、確かに年取ったと思います。年取る と言うとおばん臭いけど…良い意味でも悪い意味でも、何事にも無邪気ののめり込めた日々が懐かしい。なんて益々おばん臭く…なったので小休止：

I TM

8:58

今ここに居る人、20期西田さん、21期村松君、横溝君、22期舟本君。さて、この4人組をバサッと斬ってみましょう。

西田さん

村松君

横溝君

舟本君 (断)

ITM(21)女子

78年度YWV女子部員を cut

<21期、22期> (以下黒塗り潰し)

もう意味のないことはやめよう！

23:15

スキー講習会も終わり、不安ながらも楽しく滑っています。そしていよいよ明日、小屋を出るつもりです。皆は、横浜に、故郷に帰ったり、ガッツで、小屋で年を越す人も居るようです。

ワシは明日、日本海を左手に北上し、秋田→男鹿半島へと1人旅をします。僕は海が好きだ。冬も夏も、海は僕に新鮮で、何か逞しいものを与えてくれるようだ。そして優しさも投げかけてくれる。

1978年、今年の夏は南アへ、沖縄へ、そして冬は妙高へ、スキーへ、そして明日、海を求めて行くのです。そして多分2日の朝か夜中、和が国分寺の自宅へ帰るのです。そこで待っているのは、おふくろの作った「雑煮」なのです。

我が家の雑煮を紹介します。我が家は、生活、言語、習慣が全て大阪風なので、白味噌なのです。

中に入っているもの

ニンジン、大根、八頭(イモ)、ミツバ、花カツオ、おもち等です。今、風邪を引いているけど、海を見てこれを治し、オヤジに元気な顔を見せようと思います。では。

1年22nd Tame 山本為朝

ps 1979年1月〇日入小屋する立浪へ

オヤジさんやおふくろさんもオマエの元気な顔を見て喜んだことだろう。今年(昭和54年)も、一緒にガンバロウ。なお、西田は26日、津江と帰った。アイツも宜しく、とのこと。(終)

昭和53年12月29日(金)

0:03AM

今日、東京へ帰る心算。1年、2年時は小屋で越年した。1年の時はOBに、特製ハンバーグをご馳走した。2年の時は何か忘れたが、何かしら美味しいもんを作って食べた。そして酒を飲み、話し、歌い、1/1の朝は雑煮を食う。(雑煮は白味噌が一番。)

1年の5月、AOと二人で過ごした苗名小屋は不安と喜びでいっぱいだった。ジャガイモを真っ黒になる程焼き、わざわざ口の回りに炭を付けて写した写真。妙高山と*ノ川。そして、Unzanと朝日山。思いでの酒。思いでの酒と言え、初めて叶った丹沢の夏。唐沢◇から札掛へ歩き、札掛にてのコンパで酔い、朝起きるとバツタがタマゴを産んでいるのが目に入った。小さな山塊だが、大きな自然～丹沢～とバツタというマイクロの自然の、その本能性を、全く自然な営みの対比。今でも写真は持っている。コンパの翌日は、片足を沢に突っ込んでいるという無惨な姿。そんな無惨な姿も、お茶の水橋より神田川への思い出以来消えてゆくのかかもしれないが、無惨な姿を失敗・挫折とすれば、何とそれらの純粋なことか。

今、妙高山を飲み、多少、酔気を感じるが、まともに、なるべくまともに書こうと思う。また字が読めない！といった非難が飛びそうだが、これが自分の字である。

なえな小屋での冬も、今後、迎えることが仲々出来ないかも。小屋の冬は実に寒いし、淋しいし、楽しい。春も夏も。しかし、一度一人で、小屋で過ごすそうと思っている。1年の5月の二人の夜(青山)も、淋しい反面、酒と歌で十分楽しんだが、”孤独”は味わえない。結局、孤独を味わうには、孤独の状態に自分を追い込まねばならないだろうと思う。今年、後立 pw でも、様々と”孤独”について話した。当然夏合宿でも、自分の自然、普段の生活と、ワンダリングについても話した。やはり孤独というのは、個性の確立であると思うし、それに反して、人格の確立は社会(人間関係)にあるんじゃないかと思う。いくら頭で考えても限界がある。結局何か燃えてする、行動することだ。歩き、そして考えることが一番だと思う。何故…。何処…。何時…。○—△×…つまり、我思考山行/歩。

3年20期 西田雅典

0:35 1年のおばん

一週間この小屋にいて、爪が伸びた、髪の毛が汚れた、…でも、そんなことばかりでなくて、一番の良いことは、スキーをしてみた事。文明の世界から離れていて、不便なことだらけだけど、それでも小屋にて皆で過ごすことは楽しい。うまく言えないんだけど、判って欲しいと思います。例えば大学生になってから、沢山コンパがあったけど、ワングルのコンパに慣れると、クラスコンパ等々では何か白けてしまう。そんな事、或る人が言っていたけど、それと同じ感じなんです。判るかしら？

今、恋占いをしてきました。自分の名と年と、相手の名と年との合計の数だけカードを切る。そして3種の恋占い、全部をやってみました。よくもまあ、と思うかしら？初めうまくいかなくても、私は決してめげません。占いなんて、素敵な結果が出れば信じるし、出なければ別に気にせず、時間の許す限り、素敵な結果が出てくるまでやってみる、それでいいんだ！それで私の結果は と言えば、それはそれは良い結果で気分が良い。

1年 22nd 成田裕子

入小屋<OB 15期萩生田弘・16期本多賢・17期木村善行・畦地(木村友)・関口(早大4wv)・村山(早大3)・大島(早大3)・芥川(早大2)>

出小屋<OB18期山口貢三/3年20期 西田雅典・板倉欽也/2年21期 藤倉大介・山崎俊夫・山本規雄・渡部朋子/1年22期 舟木京太・成田裕子>

朝 9:14 昨日の続き

これから帰る。もうパッキングも済んで、後は10:00の出発を待つのみ。1週間居たのです、楽しかった。うまくなんか滑れなかったけど、初めとは比べものにならないくらいに上手になって、よかった。

富田さんに

追コンの時に手渡せずにずっと私が持っているマフラーをここに置いていきます。富田さん、そんなに上手に出来なくてごめんなさい。でも一生懸命編んだからきっと、暖かいことは暖かいと思います。英語の授業中や、地学とか微積の時とか、思い出せばものすごいファイトだったのです。どうぞ富田さん受け取ってくださいませ。そして本当に細やかなものなだけけれど、1年のブキッコウな女の子が一生懸命編んだこのマフラーを、ワングルの思い出の一つにどうぞ首に巻いて下さいませ。本当に本当に本当に…。場所は何処にしましょう(帰るみんなが下に来てしまった。早くしないと。ワー帰りたくない) 見回して、本棚にしようかしら…。井上さんの意見で本棚にします。皆さよなら、ありがとう。みんな本当に本当に。

1年 22nd 成田裕子

白井様々へ

どーもすいませんでした。新年になって学校が始まったら必ず買ってきますから。どーぞ、ごゆっくり！私どもは雪がなくて頭に来てます。

2年 21st 鳥井正志

1978年12月29日 11:00 午前

このペン是人から借りたもので、その人は赤いダウンパーカーをしっかりと着て、ダブルヤッケに黄色のホースの君と話しています。

明日帰ろう、帰ります。長かった小屋生活に別れを告げるのは大変残念、というか、帰ってしまえば否応なしに現実に戻されてしまうだろう。これはすごく甘えてるかな。兎に角今年は秋の気配を感じ始めたあたりから、本当にノンビリと、頭を真っ白の状態にしたくても出来なかったようだ。ホンの数分でもあったかもしれないけれど、常に頭の何処かに義務感や不安感や倦怠感、常に何かに振り回されている様な恐怖感。決して現実から逃げている訳ではないけれど(弁解してみている)、でもたまに妙高が懐かしくなっていて居ても立ってもいられなかった。妙高妙高…。そんなあの日、ある日、横浜駅を歩いていた。セカセカと相鉄線に乗ろうとしていた。周りの人々もただ黙々と歩いていた。何となく薄汚れた構内、信越線開通の文字、へー妙高だ、妙高のポスター、やったやった、絶対あれを自分のものにしちゃうぞ！駅長室に飛び込んで頼んでしまった。心臓に毛が生えていたにかもしれないな一、あの時は、ちゃんと苗名滝も写っている。燕温泉もね。国際スキー場はちょっと。(図入り:略)。

今やっとなんか雪が激しくなってきた。これがもう3日前だったらと恨めしい。23日の夜行で入って、そろそろ1週間になるというのに、リフト券なんてまだ3千円目。リフトと言えど春になって雪が溶け出すとゲレンデは子供達の遊び場になるそうで、本当にいろんな物があるらしい。お金も相当あるそーですよ。

何だか何を書いているのか散漫になってきた。

12/29だというのに、大勢居る。只今当小屋には、1年唯一の女の子、なえなのアイドル谷内よし子。そして2年、今のところ唯一の女の子Me。そして今日の夜行で帰ると言うワングルのガン(本当はドンと書いたのに、ガンにしろと言った)村松としちゃん。そして身分証明書の写真は信じられない位初々しいカゴくん。そして柱に寄りかかって週刊実話のページに食い入るような顔で読んでいる21キのホープ よこみぞ氏。そして、もうすぐ出ていきそうな社長花火の岩崎さんと鳥井鳥。3年はまんじゅう小泉さんと玉木さん、西田さん、石垣さん。増田さん、そしてOBのコーゾーさん。でも昨夜のコンビーフはおいしかった。ぶつぶつぶつ…おわりにしよう。

あんまりこの場に出したくない21期の山室晴美

☆山小屋ノートにはいろんな事を書こう。でも他人を中傷したり、深く傷つける様なことは絶対に書くべきでない。ばかな物好きの人達は反省せよ！ーゴメンサイー

「ばかな物好きの人たち」です

2年 21st 山室晴美

昭和 53 年 12 月 30 日 (土)

出小屋<OB18期 渡部/3年 20期 青山功・玉木慎二・加賀友規・太田信幸・小泉真弓・/2年 21期 村松俊明・鳥井正志・籠橋泰憲・岩崎泰夫・山室晴美・山中直子/1年 22期 山本為朝・成島和仁・谷内佳子・/早大 村山・大島・芥川・関口>

1978年 12月 30日 土曜日 9:10am

本日家へ帰ります。1週間前、試験1, レポート2を終え、やっとの思いでやって来た妙高高原。雪が沢山あると思っていたら、少なかったり、初日1年生に荷物を持たせて「もう少し」なんて嘘ばかり言った事や、今年もいろいろな体験をさせてもらいました。スキーは全く進歩せず、その他の所(コンパ etc)でワイワイと進歩の見られた僕。L講の打上でビール 30本飲んで、藤倉、山崎と”みはるかす”を歌いながら小屋に帰ったり、”カマクラ”の中で馬鹿な話をしたり、或る意味で寂しさを別なところで晴らしていた様な気がする。

これから帰ります。帰ります。家へ帰ればまた家の人となり、また年も明け……。先のことを考えれば空しいけれど、僕は僕なりに精一杯やってゆきます。皆さんどうもありがと。また学校で会いましょう。元気な姿で。

さようなら 2年 21st 籠橋泰憲

12月 30日 ゆき

今日は小屋を出る日です。皆出発して人が減ってきている小屋の隅で、凍えた手で書いています。昨日はカマクラの中で、恐ろしい話を聞いて怖かった。せっかくスキーを滑りに来たのに、全然上手になれなかった。でも楽しかった。ああ、皆 小屋を出ていってしまいそうなので、一人になるのが怖いから、少ししか書いてないけど、私も用意をします。小屋に残る人へ、お化けに気を付けて！ではまた会える日まで。

初めて小屋日誌を書いた女の子

1年 22期 Y.T谷内佳子

12月 29日に入小屋しました。雪が少ないので小屋には誰も居ないだろうと、リフト乗り場から帰ろうかと思いましたが、せっかく来たのだからと思い直しまし

た。久し振りの小屋でしたが、夜はちゃんとコンパもやったし歌も歌って非常にくつろげました。渡部君と一晚中歌い、英会話もやり充実した一晚でした。社会人になると山の歌など歌う機会が少ないので、その分を発散させた為に迷惑を被った人が沢山居るんじゃないでしょうか。それにしても、最後に”みはるかす”を歌うのを忘れていたのが今になって思い出し、大変後悔しています。”みはるかす”は、知っている人と歌わなければ感動も何も無いのです。たった一泊の小屋でしたが、楽しかったです。正月をここで越す人が羨ましい。田舎が遠いと実家に帰るのはお盆と正月くらいしか無いのです。だから私は正月を小屋で越した事がないのです。萩生田さんが本多さんとすれ違いになったのが残念です。今日の夜行で帰り、明日広島の家に着くつもりです。

12/30 15:30 OB 18期 山口貢三

”乱筆乱文相変わらず……!”

12月 30日 深雪

12月 22日、高崎駅から妙高9号に乗り、雪の臭う妙高に降り立った。23日入小屋、それから8日目、いつもの通り日は早く過ぎてゆく。秋に作山と来て、再び僕が好きな”混雑の小屋”にやって来た。なんと対照的だ、作山と二人の時は、二人して小便をちびりそうな思いであったのに……。

24日~26日のスキー講習会。拙い教授陣であったが、それでも健気な1年生達は一生懸命で、終わる頃には、見よ、皆素晴らしきスキーヤーに成長したではないか?!

25日の夜の”恒例お座敷スキー”は、何て楽しかったんだろう。と、その前に、24日の夜のクリスマス会、1年生諸君の迷演技。クリスマスソングの独唱、蝋燭できらめいた山小屋にクラッカーが鳴り、シャンパンの蓋が飛び交った。プレゼントの交歓会、僕は柳沢君から white book を貰いました。

26日午後は、スラローム大会、僕の party は清水選手の健闘も及ばず”やり投げで敗退し結局ゲー”。

こんな具合で、オヨヨオヨヨという間に講習会は the end.

27日以降、一人又一人と仲間が帰る。アイツもアイツもと思うと寂しくなり、早く学校でまた、皆の姿を見たいと思ってしまう。

小屋に来るといつも思うけど、失った時が無性に恋しくなる。小屋委員長としての僕の仕事も、今回の講習会を最後に、次期委員長溝畑君(21st)が受け継ぐことになりました。思えば1年間、春の遭難対策訓練、5月連休の小屋、夏の小屋、冬の準備の為の秋の小屋、最後に講習会、これらの準備のための”白銀の日々”や”涼風の日々”のパンフを刷ったり……下級生の小屋委員どうもありがと。僕はこれで引退します。

溝畑君、後を宜しく、仲間が集う、我が素晴らしき山小屋を、より素晴らしい物にしてください。

3年 20th 水田徹

23 日夜行でやって来ました。学生生活も残すところ後 2ヶ月余りなので、最後の羽根伸ばしにと正月 2 日頃まで居る予定です。

スキー講習会、クリスマスパーティー、スラローム大会、コンパ…と現役の皆さんと一緒に、楽しませて戴きました。「現役の皆さん」だなんて！私も、こういう台詞を吐く時代になりました。)スキー講習会では一応コーチをさせていただいたんですが、あまりうまく教えられず、生徒の人たちには悪い事をしたと思っています。(特に、沈み込みパラレルは、みんなやり難かったようです。)クリスマスパーティーは去年にも増して華麗でした。プレゼント交換では女の子から可愛いプレゼントを貰おうと、スケベな考えを持っていたのです。私に回ってきたクリスマスカードを開いてみると、な、なんとそこにはミミズがディスコサウンドで踊っているような象形文字(注：6 ページ前を参照)がビッシリと書かれているではありませんか。

「この文字はもしかしたら…いや、そんなことは無い、でもやっぱり、これは確かに…」そのカードは西田君(20th)からの物でした。プレゼントは、彼曰く「非常に役に立つ山の本」でした。(それを貰った時の私の心理描写は省かせて戴きます)。西田君、大切な本をどうもありがとうございます。横浜に帰ってからゆっくりと読みます。

スキー講習会最終日の午後は、恒例のスラローム大会でした。我が隊の選手は、トップから順に 浅沼、成島、山中、渡辺、玉木そして私がアンカーです。私がスタートする頃には、大抵相手チームは既に滑り終わっていて、私の一人舞台でした。結果は3戦全敗、6 位入賞、賞金 200 円也。メンバーは他のチームに比べて決して劣っているとは思えません。やはり、ウチは選手が一人多かったのだと思います。

コンパでは現役の皆さんに負けず劣らず乗りまくり、例年の乗り遅れを見事に克服しました。おかげで翌日は喉がヒリヒリしました。

スキー講習会が終わり、コンパが終わって、みんな一人、二人と帰っていき、今日ここに居る現役は 10 人程度。静かな小屋の方が、前は好きだったのですが、下級生となんだかんだ騒ぐ小屋もいいものです。やっぱり私には、眉間にしわを寄せて、難しい顔をしているよりも、みんなとバカをやっている方が性に合っている様です。

4年間クラブをやって来て教わったり、自分で学んだ山の知識や技術も、勿論大切ですが、それ以上に私にとっては同期の人たちや 20,21,22 期の人達との友情(こういうホームドラマに出てきそうな、甘ったるい

言葉はキライなのですが、今日はどういう訳か、書いてしまいました)こそ、かけがえのないものなんだと思うようになってきました。

一時はワングルのぬるま湯的な世界が、嫌で嫌でたまりませんでした。そこを去った今、漸くその良さが解って来ました。そして、この世界を卒業出来た事に誇りさえ感じています。(チョット オーバーかな?)

私もなにかんだ遠回りをしましたが、どうにか最後の一线を守るべく、カメラ関係の会社に就職が決まりました。社会人になってからもちよくちよくこの小屋を利用させて戴く積もりです。現役の皆さんに一応顔は売ってあるので、その節は宜しく!

スキー講習会中を含め、頼りない新 OB を、何事に付け、立ててくれた現役の皆さんに感謝します。(その割には、食当や水汲みをやらされたなあ!)。そのうちお金が出来たら、みんなで一緒にお酒でも飲みましょう。

ご飯が出来た様です。今晩は水炊きです。それではまた会う日まで…

サヨナラ (4年 19th 井上晃)

井上君よ、君も立派になられましたなあ。さぞ、ご両親も目頭を熱くしていることでしょう。僕も友として嬉しく思っています。これから、互いの傷を舐め合って、ネチネチやっていきましょう。何時の日か、僕の書いたシナリオで、素晴らしい青春映画を撮りましょうよ、必ずね。

(4年 19th 海野)

梅野さん、差し入れどうも有り難うございます。

12/30(土) 3年 20th 山小屋委員長 水田徹

昭和 53 年 12 月 30 日 (土) 6:45pm

16th 植松

煙草に火をつける。「峰」である。

12 月 28 日午前入小屋。12 月 27 日午後 8 時に神戸を出る。スキーバスで宮前に午前 7 時 30 分に着く。4500 円 安い!

この 1 年間に思い出すと、正月小屋で始まった訳で、勤務地が決まっていなくて、そして修士論文も書いてないで、でも何か安堵の気持で過ごしていました。そして、神戸 と勤務地が決まって 3 月末に宿舎のある加古川(姫路の東隣)に単身向かったのです。そして我が職に着いて今日に至っているのであります。

OB 16th 植松弘

早稲田のワングルでございます。

「あけましておめでとうございます 一九七九年元旦 本年もよろしく願います。去年はどうもお世話に

なりまして 厚く感謝しております

早大 長谷川秀也 」

昭和 53 年 12 月 31 日 (日)

入小屋<OB17期 蛭川欽也/4年19期 磯尾典男・石井啓介・弓削厚子・草川(弓削友)>
出小屋<OB17期 木村善行・畦地(木村友)・長谷川(溝畑友2)・市川(溝畑友2)>

3日ほど邪魔になった。全くWVが羨ましい。探検部もこんな小屋が欲しい。しかし、部員不足且つ金不足。それから、こんな1年生が欲しい。よく働いてくれる1年生がほしい。来年こそ新入部員は増やそう。とにかく、WVの諸君、ありがとうございました。

横国大 探検部 平塚農場支部長 市川 泉

これから、もう帰ります。落ち着いて小屋日誌を書きたいのだが、急いでいるのでこれにて終わり。現役諸君、良いお年を。

OB17th 木村善行

53-12-31. 午後 7:28

久しぶりに早く起きた。午前 7:30。外へ出るととても良い気分だった。9:10頃第3リフトに乗った。昨日とは一変して、とても良い天気、リフトに乗って景色を見ながら煙草を喫うと仲々良い気分だった最高!

現在とても眠たいのだ。年越しそばを食べるまで、起きてられるかどうか不安になってきた。やはり毎晩、消灯 4:00 というのはきつかったようだ。過労、風邪も引いてしまった。明日は帰る。そろそろ潮時かもしれない。

1年 22nd 柳沢章博

昭和 54 年 1 月 1 日 (月)

入小屋<3年20期 青山功>

出小屋<OB 15期萩生田弘・16期本多賢・植松弘・
17期蜷川欽也/2年21期 中川雅邦・椋代節子/1
年22期柳沢章博>

謹賀新年! 「あけましておめでとう 今年も元気で
頑張ろう 1979.1.1 20th Mizutani」(ロール紙に
書かれた賀状挿し絵:略)

大事なロールをいつも携え…今年も僕は元気です!
本当は元旦早々から風邪で鼻水に悩まされておるの
です。カマクラがいけなかった。

続いて
遅れて来たる君へ

松田君、君の履くスキーは表の雪に刺してあります。
swallow G101. クリーム色&Green and Red の
ストック。そして階段を上がってすぐの、窓の下に黄
色いスキー靴があります。大事に使おう。海野さんの
だから?!

1年生諸君、松田、森、立浪。スキー講習会の
textbook は海野さんのスキー靴の袋の中に入っている
ので、そこに居るであろう上級生に指導してもらっ
てくれ。

それから松田、スキーが終わったら、帰る時にはスキ
ーの雪を綺麗に払って小屋の2階の片隅にでも置いと
け。海野さんが春に使うという話だから。

3年生諸君、暇を縫って1年生を指導してくれ。1年
生は何よりも君たちの coach を期待しているのだ。
古橋、遠田、下村、臼井、武藤、内藤、森、立浪、松
田へ

小屋を清潔にして楽しい生活を送ってください。僕は
1/2に帰ります。

1979.1.1. 9:50 A.M. 今、小屋に一人の水田より
—最後の人は必ず面子を持ち帰ってくれ—

3年20th 水田徹

明けましておめでとうございます。初滑りは気分が良
かった。無様なシュプールを残して、今日帰ります。

2年21期 中川雅邦

新春のおよこび申しあげます。初滑りで美しいシュ
プールをつけたのであります。いまやさしく細雪が降
りています。さようなら 乱筆御判読を

ムック 元旦 9:35pm 2年21st 椋代節子

11:00AM

皆出掛けていて、相変わらず一人きり。
左手にはラジオが正月を祝い、右手には鼻をかんだロ
ール紙が渦高く積もっている。正月からもう菓を3錠

飲んで風邪とけんかしている。

振り返れば去年の昨日、9時頃から皆で歌を唄い、大
晦日の一時を過ごしたのであるが、いかんせん、青山
バケンならぬ風邪バケンが僕の身体を蝕み、眠りを容赦
なく誘うため、11時頃シュラフに入ったまま寝付いて
しまった。しかし、あれは増田か作山か、全く夢現の
中で、僕の意識を目覚めさせてくれ、確かとろろの乗
った年越しそばを食らい再び寝付いた。ああ、レコー
ド大賞は誰、紅白は、ピンクレディは、俗世の喧噪を
よそに、ロウソク灯る小屋に、静かに眠りに陥った僕
の、昭和54いや西暦1979年はどうなるのだろう。

目が覚めたら 7:30。眠くてフガフガしている中を、
お雑煮を食べた。みんなが晴れた空、シュプールを描
いている時に、僕チンは、一人小屋で屁をしているの
であります。正月早々おめでたい。

3年20th T.M.水田徹

入小屋出小屋状況 (一覧表)
水田 徹(20)3年

PRIVATE SPOT

あまりにも暇なので、またまた失礼して、去年1年
間を振り返ってみましょう。

78.1月。あまりにおめでたくて、あつという間に過
ぎた。成人式ぐらいか。

2月。試験があつたのかな、

3月。小屋で遭難対策訓練。

4月。春合宿、山田忠則、ラグビー合宿。

5月。新練1次、山菜採り、ラグビー惜敗の連続、
連休 春の小屋、

6月。新練2次、日光白根、神津島

7月。夏トレ、夏合宿!

8月。V i v a 沖縄! 小屋整備

9月。覚えていない

10月。試験、皇海、L養

11月。大学祭、Saturday night fever!、心の変
身、視野の拡大、シュプレヒコール、秋の小屋

12月。78年の終わりの月、師走、俺走。

79年。私は、叶わぬ理想にどれだけのメスを加え
る事ができるだろうか。現実の狭間に時々姿を現す理
想に。30年にかかる、それを見極めるには。そうして
更に300年近く時が経つ、戦争さえ起こることがなけ
れば、その理想はきっと、いつの間にか現実になって
いるかもしれない。

僕の言っていることはユートピアであります。人間
は現在以上の世界を時速1mmであれ、作ることが出来
ると信じる。最後の到達点は moral の世界かな、
humor の世界かも。自然と人間との間にも静かな共
存が*ずれて…

3年20th Tabaco Mmm. 水田徹

20th T.M.

スキー講習会の反省／今年は例年に比べて雪が少なかった。その為、初日の午後と二日目の午前小屋の裏で行ったため影響は無かったが、その後はゲレンデに出ると、幅が狭く十分なコーチが出来なかったのが残念である。ともかく3年4年のコーチ陣は、連夜勉強を重ね、1年生が早くパラレルクリスチャニアを完成して貰いたい一心であった。

1年生をざっと見渡すならば

寺島、佐藤などは進歩がめざましく、浅沼は言うに及ばず、ウェーデルン、細かい難点を指摘しなければ皆、シュテムボーゲンの理論は理解したし、体の方も少しずつ型どおりになってきた。結局、春の小屋で本当の進歩が見られるであろう。

2年生

何と言っても山室が、パラレルクリスチャニアの要領を体得した、板を綺麗にそろえて滑る姿は、3年の太田もかなわない。次に続くのは村松、鳥井、山中、膝の使い方、体重のバランスがもうひとつ。一つ吹っ切る事が出来ればすぐ、綺麗に滑ることが出来る。溝畑はウェーデルン完成ひたすら。他の連中はもう少し欲があればいくらでもうまくなる、シュテムボーゲンは完全に出来るのであるから、シュテムクリスチャニアなんてのは簡単なのだ。後は谷回り、山回りを必死に練習すれば、いつの間にかパラレルはできているものなのさ。

3年生

石垣のうまさはいつでも目に浮かぶ。あとは良く知らない。

一結局僕の見限りでは、石垣、溝畑、山室、浅沼がパラレルクリスチャニアを完成していると思います。が・・・

3年 20th 水田徹

今回は、家庭教師の都合もあって、入小屋が遅れましたが、それでも7泊になりました。その間スキーはあまりせず、遊んでばかりいました。それでも早稲田の小屋へ遊びに行ったりして、結構面白かった。今夜も残るかの凝るまいか迷ったあげく、やはり、今日の夜行で帰ることにします。頭の中が空っぽで、何も書くことが出来ないのです、この辺でペンを置きます。

2年 21st 横溝真司

春合宿、夏合宿、夏の pw、…去年1年間の数々の思い出が、本当に過去の物になってしまったという実感が湧いてくる。2年生が生き生きとクラブ論や運営に一生懸命になっているのを見ると頼もしいことなんだけど、やはり淋しい。オジャマ虫のいじこさの根底には、こんな気持があるのだろうか。

今日、2日ぶりに小屋に戻ってきた。31日の野沢温泉はとても混んでいて、リフト待ち時間 1時間半～2時間というヒドイもありました。それでもなんとか根性で一番上(毛無山 1650m)まで行け、遠く妙高を眺めて降りてきました。ここのゲレンデと一番違うのは、何とかコース(例えば、チャレンジコース、シュナイダーコース、スカイラインコース)というのがあることでしょう。もっとも、無い方がみっともないのだが、ゆっくり温泉に浸かってアカを落としてきました。

小屋は今11人、僕は 何時帰るか まだ目処が付いていません。3日に1年生が3人来るようなので、そいつらを教えてから帰ろうと思います。小屋は、日本中で一番落ち着く所という気がします。できればいつまでもここに居たい。

(3年 20期 青山功)

昭和 54年 1月 2日 (火)

出小屋<4年 19期 井上晃/3年 20期 石垣秀敏・作山栄一・水田徹・増田敬子/2年 21期 溝畑晃道> 7:15

長い長い小屋生活も、いよいよ今日で終止符を打つ事になった。1978.12.23の夜行～1979.1.2と9日間、よくもまあ飽きずに居られたものだ。正直言って、スキーには飽きてしまった。だから昨日は一人用の雪洞を掘った。掘り終わった後には、もうオーバーズボンやヤッケは、もうグチャグチャに濡れてしまった。これでは実際には疲労凍死してしまうだろう。でも一応、一晚寝てみた。セーターを3枚着て、1枚履いて、断熱マット、エアマットを敷いたら全然寒くなかった。これなら非常の場合にも利用できそうだ。

1978.12.31に、中川、棕代、柳沢と俺の4人で、小屋の大掃除をした。中川曰く「布団は暖かいが、綿埃が出るから困る」。実にそうなのだ。特に最近、羽毛のゴミが目立っている。これもワングルの傾向だろう。私は 21期山小屋委員長(の予定)。この山小屋の責任者になれて幸せだと、昨日酒を飲みながら、しみじみと思った。

流しが詰まっている、今は時間がないから、いづれ掃除をせねば。

初日の出 息のこおれる なえな小屋 えいえむ 冬のなえな小屋よ、世話になった。いざ、春までさらば!

2年 21期 山小屋委員長 溝畑晃道

これから帰ります。横浜で一泊してから小名浜へ。今回はスキー講習会に間に合わず誠に誠にゴメン。(来ても役には立たなかったと思うのですが。)加賀と一緒に

にカマクラを作り一晩を明かしたりして、これまでとは全く違った、冬の苗名小屋でした。いと満足。3月はチョット用事があるので、来れないかもしれません。又来る日までさようなら、苗名小屋！

3年 20th Written by Sakutaro. 作山栄一 ps 古橋 and 遠ちゃんへ。まあ、仲良くやって下さい。遠く小名浜から”あきれ顔”と”ひがみ”を込めて見守っていますから。アハ。

いよいよ小屋を出る時が来たようです。結局、今回僕は殆どスキーをしなかったみたいだ。一人又一人、友の居なくなった寂しき山小屋に耐えきれず出てゆくと、今度は故郷の友と騒ぐ毎日が始まる。今晚はきっと、桐生の町で友と酒を飲むことだろう。(酒浸りで仲々酒が抜けない、26日のコンパから、ずっと毎日、酒を飲んでいる有様)

昨日横溝が去り、コンパもここまでと思いきや、昨日の晩も飲んだ。昨日は溝畑が最下級生で、彼を間違えて”横溝！”と呼ぶと、いじけるので、これからは”晃道！”と呼ぶことに決めました。

等々、下手な作文を披露しました。

3月はまた小屋に来ます。でも忙しいからなあ〜。とにかく、苗名小屋さようなら、ありがとう。

(水田) 20th past inn servant (←? 遠田へ直せ) T.M.

今日、三田原山へ向かう。三本木に達したとき、天候が一転して吹雪になった。しかし、我々は前進した、池の峰目指し。黒姫山は晴れて、よく見えた。だが、三田原や赤倉は全く見えず。吹雪とラッセルで息が詰まる。雪は深い。遅々としてラッセルははかどらない。因みに風速は5mであった。以上は、実話に基づくフィクションである。

報告書 (池の峰ピストン)

苗名小屋 (6:35)

ートレース有りー

三本木 (7:10-7:25)

ートレース有りー

林道から離れた場所 (7:40)

ーブッシュ有り、トレース有り。

小沢を横切る。トレース無し、

腰までのラッセル、ブッシュがうるさい。ー

池の峰 (9:43)

Member 磯尾♂(19th)、石井♂ (元 19th)、弓削♀(19th)

装備 山スキー、シール、ワカン、スキー靴

林道はトレースがあった。三本木から三田原への谷筋はラッセルがきつそうであった。その際、一転しての降雪が激しくなり、池の峰へ向かった。池の峰への取り付きは、三田原方面へ入っているトレースを利用し、途中から池の峰へ取ったが、ブッシュ、ラッセル

がきつかった。尾根筋はブッシュがうるさいが、山スキー (シール装着) で、ジグザグに縫って行けた。

文責 4年 19th (石井啓介) (磯尾典男)

行動中の天候は、冷たい雪と風に見まわれ、四苦八苦、雪だるまの起きあがりこぼしの様になって池の峰を目指す。但し、三本木辺で見た御来光は素晴らしく、遠い峰峰も初春にふさわしく、凜と輝いていた。

池の峰のピークは、少しもピークらしくなく、感慨もなく、寒さに震えつつレーションをほおぼり、早々に退散。山スキーは言うことを聞いてくれず、ブッシュに向かいゆきだるま…。

それでも久々に、動いたという感じのある、怠慢な私には楽しい山行でした。厳冬期、池の峰登頂、女性1号かな…?

(文責: 4年 19th 弓削厚子)

昭和 54年 1月 3日 (水)

入小屋<3年 20期 古橋達行・(遠田H (元)/1年 22期 立浪和也・松田裕・山崎晃・森真利子>

出小屋<4年 19期 磯尾典男・石井啓介・弓削厚子・草川(弓削友)>

・作山君 チョコレートとハイソフトありがとう、シュラフカバー、オーバー手も。

・青山君 セパレーツ、アタック、ワックス、ありがとう。

・山小屋君 シール、ありがとう。ワカンも。

・徳繁君 スキーありがとう。

これより我々は山を下ります。さようなら。

4年 19th 磯尾・弓削・石井・草川

(年明け 1/1~1/10 滞在表: 略)

昭和 54年 1月 4日 (木)

入小屋<3年 20期武藤功二/1年 22期 内藤総亮・中野>

今日 小屋に入ってきました。雪は大丈夫と思って来たのですが、晴れ続きで、第1ゲレンデは滑れませんでした。しかし、去年の暮れに来た人達よりはましですが…。今は10人ほどで庄野真代などを聞きながら静かな夜を過ごしています。しかし、こうして講習会も参加できず、この小屋日誌を読み直してみると、やっぱりいいなあと思う。ワングルという集団の中で自分自身をどういうふうに位置づけたらいいか、判らない自分だが…。

とにかく今日は、自分自身納得できるよう過ごしたいと思う。

3年 20th 武藤功二

11 pm

明日はみんなガッツで滑ろうと言った感じで、みんなは眠りに就いてしまった。一人で起きていると、何となくセンチメンタルな気分になってしまう様だ。何と云っても なえな小屋は静かな方がいい。ロウソクの炎が揺れ、柱時計の 時を刻む音も静けさを強調してくれる。一人飲む酒が何とも快い。

1979年という年は、一体どんな事が起きるのだろうか。自分にとってワングルとは、またワングルにとって自分とは、そんな事をとやかく考える時代が過ぎてしまった。今思うのは、ワングルにとって自分は何だったのだろうか。(その逆もまた)。

審査委員長という立場にいて、その立場が自分を大きく抑えられていた様な気もするし、また、満足な結果が得られなかったような気がする。後輩にとって、如何なる影響を残し得たか。そしてクラブ自体に果たして役に立つ人間であれたのか。自分では判らない。それでも、唯一分かることは、僕なりに一生懸命クラブをやった事！西田を助けて、また時には、足を引っ張って頑張ってきたと思う。反省としては、弘明寺人間として随分甘えてきた事だろう。そして自分勝手に動いてしまった事だと思う。その辺はみんなも当然感じていると思う。

(ページが新しくなったので、少しだけ丁寧に書くつもり)

なえな小屋、苗名小屋(僕は平仮名の方が好きだ)。この小屋は大好きだ。まるで僕の故郷のようだ。数々の思い出がそうさせるのだろうか。ワングルはなえな小屋に発しているような気がする。そして僕もそうだ。去年の冬は 20 日間も小屋し、今年も 2 週間程居る事になりそうだし。

そろそろ寝ようか。今夜はカマクラで寝よう。一人のカマクラは、居心地は最高だろう。

では皆さん、おやすみなさい。

(3年 20th I.A) 青山功

昭和 54 年 1 月 5 日 (金)

入小屋<3 年 20 期 下村厚志・白井真利子>
January 5th Fri.

3日に小屋入りしました。実に1年振りです。懐かしい小屋は汚かった(第一印象)。でもね、やっぱり懐かしい思い出がどっと押し寄せてきてジーンとききました。三日の夕焼けは最高！山肌は赤く染まって、眼下の野尻湖はそれを映して美しい。一年生(森さん、立浪君、

松田君、山崎君)とは初顔合わせでした。かわいいのですねー。私もあれは二年前、コタツに入っている先輩を見ながら、水汲みもしました。夕食も作りました。でも、今や三年、いろいろあったし、色々な意味で変わってきた気がします。(色っぽくもなった)

今はもうクラブのメンバーでは無くなってしまったけれど、小屋に居ると全く、そんなこと忘れちゃって、言いたいこと言ってる…それがとってもステキな事だと思うのです。

スキーの腕の方は…。青山君曰く「一年の時から全然進歩してないなあ。下手になったんじゃない？増田の方がうまいよ！全然うまいよ」だって…グサッ(心が泣いた)。でも中野さんは一年時よりうまくなってると言ってくれたものね。そうよ、そうだよ…段々うまくなってきた気がしてきた。ウソ。

明日はもう帰るんです。だから今夜は最後の晩です。チョッピリ心残りの気もするけれど、この三日間は口に言えないくらい楽しかった。みんなどうも有り難う。またこの小屋に来るときは、また仲間に入れてください。いつまでもいつまでも、楽しい小屋でありますよう…

(H.E.) 3年 20th 遠田H (元)

ps 僕も来ました。スキーはくたびれた、明日帰る(遠行)

最近、毎晩飲んでます。今夜も酒盛りです。今、その準備で、みんな一生懸命です。僕は去年の 29 日から毎日飲んでます。今夜も又飲みます。僕は、お酒を飲むと色々な癖があります。一つは歌を唄うこと、2つはギターを弾く事、3つ、4つはとても言えません。今回は3泊4日です。去年はXマスから元旦まで居ましたが、今年は、正月 明けて小屋に入ったので、妙な気分です。スキー講習会に、集中講義の為出られず、そのおかげかどうか分かりませんが、彼女と一緒に入りました。(1年も4人居たが)僕は僕の彼女です。去年も正月明けに入りましたが、去年よりずっと楽しかった。だって。。。と、ところで僕は青山君も大好きです。青山君は愛の鞭でしっかり叩いてくれるからです。僕は変態かもしれません。やっぱり小屋が一番好きです。僕の次に大好きです。

(and T.F.) 3年 20th 古橋達行

例年になく雪が少なく、まるで細雪を喜んでいるような子供のように、雪を欲しがっている私です。肌に素直な雪はとても快く「あ～あ雪だ」という感覚を十分楽しませてくれるものです。そんな雪は、まるで降ってはくれず、春の そのものを思わせるのは、余りにも悲しいばかりです。

なえな小屋はとても静かに…と言いたいと思うのだ

けど、今のこの小屋は、ややうるさい感じで、もっと静かな小屋を楽しむつもりでした。唯、思うことは、人間の入れ替わり…さっきまで居たのは、もう居なく、また新しい人が入ってくる。そんな小屋…長く居た人間だけの気分だと思うのです。そんな小屋は何でこんなに居心地良いのでしょうか。こんなステキな場所は他にないでしょう。私としてはまるで故郷なのです（私の故郷は東京なのです）。小屋は僕にとってメルヘンであり、暖かい毛布のある、優しいベッドの様なムードを備えているようです。そんな小屋が何とも言えない…水田じゃないけど、コヤはいい！

(3年20th I A) 青山功

昭和54年1月6日(土)

入小屋<長山(中野知人)・野山(中野知人)>
出小屋<3年20期 古橋達行・遠田H(元)>

PM 9:30

小屋に入ってから早や4日が過ぎた。スキー講習会には出られなかったが、楽しい小屋での日々が過ごせたと思う。

怠慢だと思っていた山崎(I)が積極的に働いてたのはびっくりした。松田はいつも松田であり、森はいつもの森だった。

1年のスキー技術

- ・山崎…初日は雪に怒りを燃やし恐れていた。徐々に転ぶ回数も減り、雪に馴染んできた。後は時間の問題。
- ・松田…突進型、転ぶことに快感を覚えている変態。これはもう直らないだろう。
- ・森…気分によってスキー技術が変わる先天的分裂型。夜はいつもセーター、手袋、パンツを必死に乾かしている。

わずか4日間だったけど、いろいろ僕に与えてくれた妙高よ、有り難う。苗名小屋よ、有り難う。先輩有り難う。そして、変な1年、有り難う。僕にはやっぱりワンゲルの生活は切り離せないと思う。これからも、仲間と一緒に自然の中で、共に語り、共に学んで生きたいと思う。

ほんとに苗名小屋、有り難う。

1年22期 立浪和也

昭和54年1月7日(日)

出小屋<3年20期 青山功・武藤功二/1年22期 立浪和也・松田裕・山崎晃・森真利子・内藤総亮・中野・長山(中野知人)・野山(中野知人)>

今日、1年4人(立浪、森、山崎、松田)、3年2人(青山、武藤功)、それに内藤、中野さん及び中野さん

の知り合い(長山、野山)が帰ります。残るは下村、白井だけ。

2週間の小屋生活も終わりが近づいています。とても名残惜しいけど、仕方有りません。それにしても、余りにもノンビリした生活でした。時差ぼけどころではなく、日差ボケも甚だしいものです。これが直るのは、1週間はかかるでしょう。今回はカマクラに2泊しました。寒かったけれど、なかなかの物です。そして僕にとっては驚くべき羽绒服。これはものすごく暖かい。セーター知らずの小屋が過ごせました。

そろそろ帰ります。また3月にはこの小屋に来れるでしょう。その時までさようなら。

(3年20th 青山功)

10:30 AM

今日帰ります。相変わらずスキーは巧くならず仕舞い。今度 春 来たら、理論をバッチリ頭に叩き込んで、スキーも買って、スキーウェアも買って、バッチリ決めてくるつもり(?)です。

3年20th 武藤功二

7日の朝にみんな帰ってしまい、12人居た小屋も随分と淋しくなりました。買い出しをして小屋に戻ってきても、誰も居ないので(そこで一句)

「ただ今と 言っても返事のない 我が家」
となってしまうのです。

今夜は、夕食は水炊きで4、5人分を二人で食べました。その後はラジオもないので灯火に親しもうと、別冊サンデーなどを読んでいます。

それにしても、昨夜とその前は12人で炬燵を囲んで飲めや歌えやだったのに、何とも今夜は静かなこと、ストーブの炎の音が聞こえます。雪は全ての音を包み込み、やがて闇の世界へと時は過ぎてゆくことでしょう。

明日の授業の代返、よろしく頼みます。シンへ。

3年20期 Mariko 白井真利子

P.M. 8:20

空も、今晚は機嫌が悪いようで、せつかく続いた好天も、明日は打ち止めとなりそうである。明日こそは1日券で滑ろうと思っていただけに、これはイタイ！M嬢は隣でトランプ占い等をやっておりますが、結果の方は如何なものでしょうか。

今日は久し振りに仕事をしたので疲れしました。さて疲れついでに、4頁前の「and TF」氏の文章について、分かり難い人も若干居ると思われしますので、私が『試験に良く出る国文解釈』を参考にして、非常に明快な解釈をして差し上げたいと思います。

まず、この文章は2段に分かれております。文法的には、珍妙であります。後段は「僕は僕の～」という

ところから始まっています。そしてこれが最も大事であり、この文章の特異なテンであります。実はこの文章は、二人の人間によって書かれています。仮にその人物をF氏とE氏としましょう。当然、前段はF氏の手によるもので、後段はE氏によって書かれています。次に、文章中に乱用されていて、読む人の疲れを誘う『僕』という言葉をごく簡単に解釈してみましょう。

- ・2行目「僕は去年の29日から…」僕：お酒の好きなF氏
- ・3行目 これは誰でも分かるので cut
- ・7行目「僕は僕の彼女です」前の「僕」：実はE氏です。
- ・後の「僕」：言わなくてもワカルダロ
- ・8行目「僕は青山君～」僕：E氏
- ・9行目「僕は変態～」僕：これもE氏
- ・10行目「僕の次に大好きです」僕：ここで間違えてはいけないのは(間違えるハズも無いが)、この「僕」はE氏ではなく、F氏を指しているということです。以上の事に留意して読めば、あなたは文章をすっきり理解することが出来ます。自信はつきましたか。大学受験は、もう目の前です。皆様方の幸運をお祈りしております。

ではこれで、ラジオ講座『下村先生のよくわかる現代文解釈』の時間を終わります。

ー…提供は、マン丸せんべいでおなじみのマリトラ製菓でした。明日のこの時間をお楽しみにー…

文責 A.S.3年20期 下村厚志

PM.11:00

引き続き『オール・ナイトなえな小屋』をお送りいたします。一時、危ぶまれていた天候も、大分持ち直したようです。それでは、外の様子を、小屋の屋根の上にいる白井アナウンサーを呼びだして、聞いてみましょう。白井さん、うすいさ～ん、マリちゃん、マリ助…ザー・ザー……ザザー……

【マリ】うるさいわねー！外はとても良い天気です。月が明るく差し込んで大きな星が見えます。とってもロマンチックですヨ。こっちへいらっしやらない？ネエ、ひろし 遊ぼう(リリックのコマーシャル風を読むこと)

3年20th 下村厚志&白井真利子

昭和54年1月8日(月)

今晚は、PM.7:40です。YWVラジオ講座の時間です。予定では8:0の開始でしたが、スポンサーのご厚意により、40分繰り上げて放送いたします。今日の講座は『白井先生のお料理教室』です。なお、実況担当は下村でお送りいたします。

…突然ですが、ここで、妙高高原、妙高国際スキー場より、ゲレンデ情報をお伝えします。

「雪不足のため、第1ゲレンデは滑降不能となっております。また、第2, 第3, 第4ゲレンデも、所々ブッシュや岩が露出しておりますので、お客様は十分ご注意ください」

…これでゲレンデ情報を終わります。

さて、今日のお料理教室は、白井先生に2, 3の献立のサンプルを出して戴きまして、それについて、白井先生に御批評して戴きたいと思っております。なお、サンプルに使用いたします献立は、去る1月7日と8日に、妙高高原町なえな小屋にて作られた物であります。

<7日の晩飯>

- ・水炊き…(使用材料) 春菊、ねぎ、豚肉、榎茸、椎茸、はんぺん、こんにゃく(早稲田から貰い物)
- ・デザート…コーヒーゼリー

<評 マリ>

水炊きは、一度ガスで、予め材料に火を入れて、石油火鉢の上で熱々のところを食べると最高です。特に、足は炬燵、背中ストーブ、片手に箸というスタイルがよろしいでしょう。コーヒーゼリーは、隠し味として、ほうじ茶を入れますと、色も変わらず、香り高いものとなります。おためしあれ。

《臨時ニュース》

またまた突然ですが、臨時ニュースを申し上げます。8日の午後2時頃、新潟県の妙高高原町、妙高国際スキー場において、神奈川県藤沢市の学生、白井真利子さん(20)が、第3ゲレンデを滑降中、誤って転倒し、顔などに全治1日間の軽傷を負いました。白井さんは、すぐ現場近くのレストラン「サンアントン」に運ばれ、ハンバーグステーキを注文しましたが、回復の見込みは無く、ほぼ絶望とみられています。…

ではこれで臨時ニュースを終わります。…

<8日の晩飯>

- ・焼肉味ポン焼…(使用材料) 豚肉、もやし
- ・サラダ…ブロッコリー、トマト、レモン
- ・お吸い物…椎茸、サヤエンドウ、はんぺん
- ・デザート…みかん

<評:マリ>

色彩感覚があれば、料理は楽しいんじゃないですか。料理って本当にいいですね。特に、食べてくれる人が居てくれる時は。

では、これで非常につまらないラジオ講座を終わります。なお、明日のこの時間はお会いしません。

3年下村厚志&白井真利子(20)

- ・ー 後から来る人へ ー
- ・現在小屋にあるカートリッジ、ろうそく、ロールの残存個数は
- ・カートリッジ…9個

・ロール…26個
・ろうそく…欠陥品が5, 6本です。
使用後は残存個数を調べ、小屋委員の方へお知らせ下さい。

下村厚志(20)3年

<TWO・TEN・JACK>

S : -11 U : 11

10回計 S : 84 U : 139 (詳細略)

臼井真利子(20)3年

滞在表

中島・熊沢 1/9-1/11

南・富田 1/11-1/13

昭和54年1月9日(火)

入小屋<4年19期 中島輝夫・熊沢智子>

出小屋<3年20期下村厚志・臼井真利子>

ワンパターンの「今日帰ります」です。朝、中島さんとクマさんが入ってきて、急に賑やかになりました。久し振りに会ったけど、中島さんもクマさんも相変わらず。

僕は、春はもう小屋には入れるかどうか分からないけれど、なるべくなら入りたいと思います。部外者の料金は春まで上げないでください。

(3年20th 下村)

中島さんはいつもながらのパターンの話で、「初トレ」とか「いやよいよよも好きのうち」の話しかしません。本当ならもう一泊くらいしたかったけれど、バイト学生の上、帰らねばなりません、残念。

5日からずっと快晴で、雪はどんどん溶け、今日はブッシュと石と穴だらけです。

2時にサンアントンへ行って中島さん達と打上をする予定です。

(3年20th 臼井)

では皆様さようなら。

3年20th Atushi&Mari 下村厚志&臼井真利子

入小屋 中島、熊沢

どういう訳か二人で小屋入り、実は正月に来ようと思っていたが、いろいろあって、春に来るつもりが、突然話はトントン拍子。もう一人の人と3人で入る積もりが、その人が卒論にめげ、僕は卒論がめげ過ぎ、熊は卒論が進み過ぎ、結局の所変なコンビで小屋入り。

小屋にはサンアントンでさんざん(注:適当)飲み食いされて別れました。1日券は買ったものの、どういう訳かリフトに乗ったのは10回、理由は

・そのいち. 雪がずっと降っておらず、ギャップと草付きのゲレンデに悩まされました。

・そのに. 僕の友達がゲレンデに於いて、恐怖の回転好伊折飛びにて着地に失敗。スキー靴で滑って降りました。

・後悔その1→(コーチは側で笑っているだけ、冷たい人でした)

・そのさん. その人は他人のセーターを預かりながら、勝手に失くして大奔走。

・後悔その2→(大声で罵倒するのみ。) (中島)

・弁解そのいち(当事者弁)・スキー板大破について→ゲレンデの状態が悪かった。夜行のため疲れていた。運動不足であった。しかし、最大の原因はコーチの内容にあると思われる。

・弁解そのに(セーターの件について)→体調悪し。スキー靴でゲレンデを歩いていた。セーターの他にゴーグル、手袋(2)、ボーンを持っていた。不可抗力であったとしか言いようがない。

上野を 9:30pm に集合させられてから、7:10am 駐車場、10:00am にやっと入小屋。

長い旅でした。

長い1日でした。

中島氏の話のペースに乗せられる前に明日の笹ヶ峰を夢見て、私は安らかな眠りに就きました。

夕飯 ククレカレーの予定がジョリエールのみ(淋し)

4年19th (熊沢智子)

昭和54年1月10日(水)

起床 7:00am

出発 2:00pm 快晴

快晴の割には、気乗りと昨日の疲れからウダウダ。目的地を池の峰に変更。何となく行ってきました。

トレースは笹ヶ峰まで十分付いている模様(池の峰にた)。雪質悪く、展望良し、相棒悪く、装備良し(?)。

装備一覧表

ブス 1, ツェルト 1, [ナント?⇒甘納豆湯にて(文太郎風)], ホーローなし、紅茶なし、水ポリ1, 着替え、ヤッケ1, シール 1, スキー1, おやつ1, 手袋1, カメラ1, カイデン1, ロープ1, 三角巾1, ローソク1, マッチ1.

前夜、一応天気図作図。

小屋着 4:30pm

夕食 カキ鍋、うどん

調理所要時間 10分位(野菜ちぎって煮込むだけ)、コーヒー、紅茶 数知れず。

4年19th 中島輝夫

昭和54年1月11日(木)

入小屋<4年19期 南・富田博之>

出小屋<4年19期 中島輝夫・熊沢智子>

慌ただしく今日帰ります。小屋に来て2泊3日というのは実に物足りないのですが、バイトの子と卒論が首を長くして待っておりますので悪しからず。 P s 南君、富田君へ 決して避けているのでも嫌っているのでもありません。(唯 会いたくないだけです、と某氏が隣で私の心情を言っております) 今度全て落ち着きましたら是非一緒に来ましょう。ゴメン!

19th 中島輝夫4年

お疲れの所もう一人。何度か小屋に来ましたが、こんなにもアクシデントの多いのは、初めてです。2泊3日とは言え、非常に長い長い小屋でした。

昨年卒論だけは一生懸命やろう。この冬はs k iなどに浮かれてはおれぬと、正月も3日間、4日から卒論に取り組んでおりました。そのまま居ればスキーも折れずにいたのに。突然不幸はやって来るものです。

気をつけよう 甘い言葉と 遊びの電話

p s 南君、富田君へ、どうせ来るなら、こっちの方が(君たちのことです) 良かったかしら…と後悔しつつ、

4年19th Kuma. 熊沢智子)

電車の時間、ギリギリまで待ちましたが、来そうもないので行きます。外は驟々と雪です。これからは抜群のスキー日和となることでしょう。残念でなりません。ナント新雪は1週間振りのことだそうです。内定決まって、足を折らない程度に

板は折っても足折るな

現在小屋にある備品

・カートリッジ 8個

・ロール 26個

・ろうそく 欠陥品が5, 6本

⇒帰るとき、再点検して、現役へ知らせて欲しい。

4年19th 中島輝夫

昭和54年1月13日(土)

出小屋<4年19期 南・富田博之>

昭和54年1月23日(火)

入小屋<OB18期 向井/榎本(早稲田)OB>

1/22~28と1週間休みが取れたので、久しぶりで山

小屋へ来ました。朝9:00に家を出て上野発10:53の信州3号に乗り、途中 篠ノ井で急行赤倉に乗り継いで、15:37妙高。黒姫を過ぎる頃からいつもの気分になり、そんな気分になれたことに安心感を覚える。会社に入って1年足らずだけれど、こんな自由な気持ちになれた事が嬉しい。

バスセンターへ行くと4時発とのこと。リフトのことを考えてタクシーにする。五八木で鍵を貰ってリフトへ急ぐ。第1, 第2は間に合ったけれど第3からは歩く。ゲレンデを離れると膝下のラッセル。今まで何回か、リフトに乗り遅れたことはあったけれど、これ程あえいだのは、1年の時以来。1年半のブランクを感じる。林道に新しいトレースがあったので、誰か居るのかなと思ったけれど、小屋は雪の中に埋まったままだった。コーヒー飲んで、ブランデーを飲み、おにぎりを食いながら花札をし、炬燵で暖まりながらストーブを燃やしたりなぞ していました。心がほどけてくるような 楽な状態。

今回ここへ来たのは、スキーもしたかったのだけれど、自分でも唯、時間が経つことだけを待っていた様な気がしていたんだ。それで、出てくる時に、ノートと便箋を買い込んできたのだけれど、懐かしさにまずは山小屋ノートに書き込みをさせて貰いました。

明日は早く起きて、存分に粉雪を鳴らして来ようと思っています。

OB18th 向井

昭和54年1月24日(水)

出小屋<OB18期 向井/榎本(早稲田)OB>

急用が出来たので帰ります。植草、貢三、川俣さん すみません。掃除も十分出来ないのですが、よろしく。ウィスキー、ワイン、ブランデー 置いてきます。

OB18th 向井

昭和54年2月26日(月)

入小屋<4年19期 海野>

Kazuaki Un'no (19期)

朝、上野発7:53の<妙高3号>に乗ってやって来た。窓の外は雨。リフトに乗るのが嫌だなど思いつつリフトに乗った。

約1年振りでスキーを履いた。びっくりした。怖かった。自分でもイヤになるくらいへタクソな上に、この1年のブランクは大きく、小屋に辿り着くのに2回も転倒した。そのうちの1回は、小屋の前で「ほっ」とした時に転んだ。全然上手にならないからイヤになる。イヤになるから、上手にならない。

ともかく、鍵を開けて中へ入った。思ったよりキレイになっていた。早速ストーブに石油を入れ、炬燵の用意をして、紅茶をいっぱい飲んだ。一人で小屋に入るのは、今回で2回目だが、一人で泊まるのは、これが初めてである。好きこのんで1人で来た訳ではなく、誰かさんと一緒に来たかったのだが、みんなそれぞれスケジュールがあるとやらで、結局一人になってしまった。さすがに静かで気味がイイのである。

四年間の締め括りとして何かを考えようとか、気持の整理をつける為、という気持はサラサラ無く、この四月迄の、短いようで長い、気ままな時間を何とか楽しく過ごそうと思って来た訳である。

一月の末に卒論を提出してからもう一ヶ月も経ってしまった。勿体ない。勿体ない。OBになると小屋費も200円だそうですなあ。勿体ないな〜。でも、みんなちゃんと払っていますか？

さて、メシでも食おうか。

— B r e a k —

本日のMENU

- ・クノール野菜スープ (ポタージュ)
- ・丸美屋の鶏肉入山菜釜飯
- ・K&K の焼牛肉味付け (パチンコで取ってきた) at Shibuya.
- ・栄太楼のフルーツみつ豆
- ・スペインのワイン (VINTAGE1970・向井さんが持ってきた)

B・G—FM 東京

4年 19th 海野

(海野回顧8頁)

大学に入ってからもう4年がタツ。タツのは四年間ばかりではないけれど。この四年間、どこがどう成長し、どう立派になったかという、大して無い。高校時代のように別に毎日が充実していたとは思わない。ただいくつかの事を成し遂げた。そこでこの四年間の年表を作ってみようか。(つくづくヒマ)

- ・昭和50年3月31日 || 横浜国立大学経済学部合格。早速駿河台予備校にゼニを返して貰いに行く。やっと大学に入れた。バカにしていたW大学を落ちたことがかなりショックではあったが、一期校も試験の後、しつこくZ会をやっていたのが功を奏した。Z会というのは、名だたる通信添削の中でも、いわば最高峰でありまして、僕は一年の時から、これしかやらなかった。
- ・4月 || 入学式 (ダーバンのスーツを着て行ったっけ。) Y.W.V.に入部 (3浪位にみんなは思っていた)
- ・29日 || なんと、ショルダーバッグで高松山へ行った。この日、武器を忘れ、あの「穴山」さんの武器を借りて、興奮しながらスプーンを舐めたもので

した。

- ・5月連休 || 山小屋へ来た。あの時は、村山さん、石井、南、磯尾、久保、山本、岡本なんかと一緒にだった。この頃、ナンセンスクイズが流行っていて一日中やっていた。
- ・5・6月 || 新練合宿一次・二次。笠取山へザックをしょって登った事が、今でも忘れられない。Lは小浜さんでした。
- ・7月 || 北海道へpwに行く。とっても楽しかった。田村さんと”口”の対決をしましたなあ。勿論僕の勝利。
- ・8月 || 南アルプスへ行きました。姉さんがバテて、エライ目に遭いましたわ。
- ・9・10月 || 所謂うつ病に罹り、すごく落ち込む。みんなが寄りつかなくなり、部室へは殆ど足を運ばず、毎日、映画ばかり見ていた。テストもあんまり出来なかった。大学4年の中で、一番苦しかったような気がする。…その後、回復するのに半年かかった。
- ・11月 || 高校時代付き合っていた人とケンカをして別れそうになるが、しつこくよりを戻して”愛”を確かめ合った。オリオン座を観ながらでしたなあ。
- ・12月 || 覚えていない。
- ・51年1月 || 同じ
- ・2月 || テストだけが記憶に残っている。
- ・3月 || 引っ越し。今では余りに有名な、あの”ムサシコスギ”にやって来たのである。しつこいようですが、東横線はいいですなあ。あの垢抜けした、高貴な雰囲気は何とも言えない。相鉄線なんてクサイね。それにしても、あのアパートに何人来たかね。名前を揚げてみよう。井上・(しつこい位にやって来て、パジャマを勝手に着ていた)、中島、石井k、白川、富田、南、岡本、磯尾、向井さん、植草さん、中村、横溝 (レイ子)、和田、石垣、西田 (3年)、加賀、山本為、立浪、松田、西田、鴨志田、そしてあの人。計22名
- ・51年4月 || 2年生になりました。後は又の機会に。

4年 19th 海野

大学へ入って、山へもよく行ったし、学校へもたまには行ったけれど、一番長い時間を過ごしたのは映画館であろう。今のところ、510本ぐらい見たかな。1年の時は180本以上も見たものでした。そのうち、上映中に寝込んでしまったのは1本だけです。そして、全作品をノートに付けています。横浜へ出てきて何とも嬉しかったのは、昔の名画が思う存分観ることが出来たことであろう。静岡の田舎では、よく塾をさぼって、学生150円の名画座へ行ったものでした。クラブを終えて、メシを食って、7:00頃名画座へ行って、9:00頃帰ると、丁度塾が終わる時間で、ピッタリであった。その名画座は週一回ずつ替わる事になっていた。そこ

で観た、「ブーベの恋人」というのは忘れられませんね。だから高校時代はせいぜい 50~60 本/年というペースであったので、大学ではいくらかでも映画が見られるのが嬉しかった。オールナイトにもよく行きましたっけ。土・日で13本も観たこともありました。その日は、天気が全く分からなかった。静岡に帰っても 50 本以上は観たいものです。誰かさんと一緒にね。

そこで私の大学時代のベストを挙げてみようか。

一番よく見たのは、多分、日活 40 年度作品の「けんかえれじい」かな。これは多分7回くらい観ているかもしれない。「清順」という名前の監督さんなんよ、これを作ったのが。(鈴木)って言うんだけどね。それで、この人、実はNHKの「鈴木健二」っていうアナウンサーのお兄さんなのよ。知ってる人、あんまり居ないだろうね。

洋画では何と言っても「アパートの鍵貸します」(66 年度米国)ですなあ。原題は「The Apartment」と言うのです。ジャック・レモン(「エアポート. 77」のパイロットにも出てきましたなあ)とシャーリーマクレーンのコンビで、ビリーワイルダーという人が作ったのよ。一生忘れられない、人生のベスト3に入るでしょうね。

後2つは、フェリーニの「道」と、P.ボクダノヴィッチの「The Last Picture Show」ですな。これは高校の時、あの名画座で観たのですよ。ショックでしたねえ。ほんとに。「こんな田舎、捨てちまえ」と思ったモンね。みんなそう言うんだけど、東京生まれの君には分からないでしょうね。

それにしても、このワインはうまいね。ありがとう、向井さん。

コタツの中から変てこなガスが匂ってきて、1979.2.26の night に。

4年 19th 海野

1979年2月26日 月曜日 くもり後雪少々 by Unno P.M.8:30 ごろ

こうしているとヒマですなあ。ラジオ持ってきたんだけど、FM がよく入るので聞いているのだけれど、なにせ FM・NHK はクラシックだし、FM・TOKYO は「望星高校講座」だもんね。今、「古典乙 I」が終わって「政治・経済」なんです。もうヒマだから、小屋をうろうろしたり、体操したり、歌を歌ったりしているよ。でも自分のアパートに居る様な気もしてくるね。テレビが無いだけだもんね。明日も一人で居られるらしいから、何かしようかね。映画に関する本でも、ゆっくり読もうかしら。

(現在の図：テーブルの上 略)

さっきの続き

・51年4月 || 2年になって、今までのうつ病が急転「躁病」になる、これ又皆が恐ろしがる。どうしよ

うもなく浮かれてしまうのである。1年の時のマル優の数は9個でした。

- ・ 5月 || 忘れることが出来ない徳繁の死。アイツより僕はもう2つも年を取ってしまったよ。あいつは永遠に 20 才なのだろう。あの笑顔のままで…。いつか、高松のお宅へ行ってみたいと思っています。
- ・ 6月 || 新生のワングル登場。大平さんの大逆転とも決して引けを取らない大逆転で、向井氏再選。クラブの多くの3年生が辞めていってしまいましたなあ。
- ・ 7月 || 新錬。この時に初めてSLをやらされましたねえ。人数の足りなかった3年のおかげで、歩荷は免れまして、大変良かった。ただ、打上だけは恐ろしかったねえ。
- ・ 8月 || 知床へ行きました。原始人になって変なもの食って、大きな〇〇〇をしましたっけ。大分詰まりましたなあ。あの頃、もう国後島にはロシアの空軍が居たのですなあ。それにしても今野さんの〇〇〇は大きくて、ほんとに目がくらみました。
- ・ 9月 || 別に無し。
- ・ 10月 || L養。トランシーバーを使うことの快感に浸り、オ〇〇〇〇〇を知りました。
- ・ 11月 || 皆さんの要望に応じて見事、副主将に当選。歴代の副将の中でも一、二と呼ばれる手腕・・・いや口 を駆使して、皆さんをだまくらかしました。気持良かった。そして忘れもしない11月23日、渋谷で「あの人」に「サヨナラ」と言われる。クソッ。
- ・ 12月 || 追コンで圧倒的支持を、我等2年生は勝ち取った。特にキャンディーズ(井上一ミキ、南一ラン、富田一スー)は女の子までが悩殺され、僕の青田赤道もかなりうけましたな。それにしてもツポイさんが、真剣な顔して怒鳴れば怒鳴るほど、みんな白けた顔してましたっけね。
- ・ 年末・52年1月 || 臼井・増田・清水・向井さんと北陸に出掛けましてサンザン。船の中でゲロを吐いて参りました。そのおかげで私は狐付きに襲われ、エクソシストの夜を過ごしました。金沢の街は懐かしいですなあ。
(break—今日は、リンダ・ロンシュタットの曲が特集されています。)
- ・ 52年1月 || 冬トレで雪だらけになりました。
- ・ 2月 || テストでしたが、優の数は8個でした。合計17個、30個まで後13個。
- ・ 3月 || スキーツアーに行きました。面白かったですなあ。帰りに井上が2回も転倒したりしていましたなあ。この頃が一番ワングルでは楽しかったような気がします。なにせ、希望でムチムチしていたのですからね。女の子もみんなムチムチしていましたねえ。

- ・ 4月 || 3年生になりました。充実してました。ハイッ。春合宿のコンパは忘れがたく、弓削さんが酔っぱらってしまい、滅法色っぽく、僕の肩にもたれてくるのをアルコールの酔いの中ではっきり自覚し、スケベをしようと焦っているうちに、雨に打たれた朝になってしまった。あの時失敗した為に、彼女はI君のものになってしまったのだ。クソッ。
 - ・ 5月・6月 || 新練一次、二次、びしっびしっやりました。
 - ・ 7月 || 待望の南ア縦走しました。向井さんとは大喧嘩をして面白かったり、織内さんともマズイ関係になり、人間関係の難しさを知りました。21才の夏のことでした。そして、西田君にトイレを覗かれ、それ以来詰まってしまいました。彼はその後、その事をととても心配してくれて、「お腹を揉めばいいよ」等と言ってくれましたっけ。でも、出ませんでしたよ。
 - ・ 8月 || pwで朝日岳に行きました。大鳥池で太田がイモリばかり釣っていましたなあ。花火大会も面白かったね。
 - ・ 下旬 || 山小屋合宿。富田のチェリーに10人位乗って、笹ヶ峰に行きましたっけ。
 - ・ 9月 || 疲れました。
- このノートもおわり。NEXT ONE!
- ・ 10月 || 急性の胃炎になりました。
 - ・ 11月 忘れました。
 - ・ 12月 追コンでまたもや大賞と思いきや、一年生に奪われました。
 - ・ 53年1月 || 冬トレで鷹巣山へ行きました。下山途中、山室の足がつり（今年は山中の足がつった）、私目は、その太股にタッチしてしまいました。ゴメンナサイ。
 - ・ 2月 || ガッツでテスト、テストでガッツ。マル優を15個も取ってしまったのです。ウシウシ。合計32個、やりました。ハイッ。
 - ・ 3月 || 覚えてまへんなあ。向井さんが静岡にやってくる、静岡の街が一層クサクになりましたねえ。
 - ・ 53年4月 || とうとう4年ですわ。もうアカン。

4年 19th 海野

15号完